

はたちの若者へ向けた知事メッセージ（はたちの献血キャンペーン）

はいさい ぐすーよー ちゅーうがなびら。

本日めでたく、成人の日を迎えられる皆さんに心からお祝いを申し上げます。

沖縄県、市町村及び日本赤十字社では、「はたち」の皆さんを中心に県民の皆様の献血の輪を広げるため、毎年、元日から2月末日までの2か月間、「はたちの献血」キャンペーンを実施しています。

令和4年度、沖縄県内では、約54,000名の方々に善意の御協力をいただきました。そのうち、20代の献血者数は約6,900名と全体の約13%を占めていますが、少子高齢化で若い世代が減少している影響もあり、20代の献血者数はこの10年間で37%も減少しています。このまま若年層における献血離れが進んでしまうと、血液の安定供給に支障をきたすおそれがあるため、今まで以上に若い世代の献血への御理解と御協力が不可欠です。

多くの患者さんの病気やけがの治療に使われている血液製剤は、献血で御提供いただいた血液からつくられています。原料である血液は人工的につくることも、長期間保存することもできません。安定的に血液製剤を届けるためには、日々多くの方々の協力が必要になります。

このたび、「はたち」になられた皆さん、献血は身近でできる大きな社会貢献です。献血によって多くの命が救われていることを知っていただき、献血に御協力をお願いします。その一歩が、誰かの命を救うチャンスにつながります。

結びに、希望に満ちた新たな門出を祝福しますとともに、今後の皆さんの御活躍を祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

ゆたさるぐとう うにげーさびら。

令和6年1月吉日

沖縄県知事 玉城 デニー